



## 2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月13日

上場会社名 川崎地質株式会社  
 コード番号 4673 URL <http://www.kge.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務企画部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 栃本 泰浩  
 (氏名) 土子 雄一  
 TEL 03-5445-2071  
 配当支払開始予定日 2021年8月6日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年11月期第2四半期の業績(2020年12月1日～2021年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	5,146	24.5	609	218.5	642	163.6	422	234.4
2020年11月期第2四半期	4,134	3.8	191	14.1	243	25.7	126	△23.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	489.66	—
2020年11月期第2四半期	146.56	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期第2四半期	6,694	3,769	56.3	4,365.54
2020年11月期	8,015	3,329	41.5	3,865.58

(参考)自己資本 2021年11月期第2四半期 3,769百万円 2020年11月期 3,329百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年11月期	—	25.00	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年11月期の業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	10.9	500	190.6	560	118.5	340	191.1	394.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年11月期2Q	1,057,980 株	2020年11月期	1,057,980 株
2021年11月期2Q	194,475 株	2020年11月期	196,556 株
2021年11月期2Q	862,322 株	2020年11月期2Q	861,461 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症の収束期待が開始してはいるものの未だ予断を許さない状況下、実態面を見ると国内消費抑制、インバウンド需要の低迷、企業の設備投資に徐々に明るさが見え始めているものの、本格的な回復はこれからという状態が継続しております。これに米中対立など海外要因も今後のリスクとして留意する必要があります。

当社を取り巻く建設コンサルタントおよび地質調査業界におきましては、2018年12月に策定された国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に続き昨年12月に予算規模15兆円の「防災・減災、国土強靱化の5か年加速化対策」が策定されました。

これによりさらなる受注競争の激化が予想されるものの国内公共事業を取り巻く環境はおおむね堅調に推移するものと予想されます。

当社は事業内容の性質上、一般的に新型コロナウイルス感染症の影響を受けると考えられる事柄との関係性は低い事業であり、現時点では着工中案件の中断等はないものの、当社社員をはじめとする関係者の安全を最優先とする方針のもと在宅勤務・時差勤務、会議等のWEB化等の奨励や業務中のマスク着用徹底など予防や拡大防止に対して適切な管理体制を継続しております。

こうした状況の中、当社はコア技術を活かした点検、診断、維持対策工法検討など予防保全業務に注力するとともに、地質リスクに対応した保有・先端技術を活かした提案力をもって、震災等の復興と国土強靱化推進業務をはじめとする自然災害・防災関連等の業務、道路・下水道維持管理をはじめとするインフラメンテナンス業務、再生可能エネルギー、海洋資源開発等、関連業務に全社員協力一致のもと取り組んだ結果、当第2四半期累計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

受注高は、期首より堅調に推移したことに加え一部大型案件も寄与し、53億82百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

売上高は繰越業務と当期受注業務の順調な完成により51億46百万円（前年同四半期比24.5%増）、営業利益は大型案件を含む原価低減が図られ6億9百万円（前年同四半期比218.5%増）、経常利益は6億42百万円（前年同四半期比163.6%増）、四半期純利益は4億22百万円（前年同四半期比234.4%増）となりました。

## ②売上高の季節的変動について

当社は、官公庁・公共企業体をはじめとする公共部門との取引率が高いことから、納期の関係もあり、売上高・利益ともに第2四半期と第4四半期に集中するという季節変動の傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の分析

## (資産)

資産合計は、前事業年度末に比べ13億20百万円減少し、66億94百万円となりました。その主な増減内訳は、完成調査未収入金の減少7億6百万円、未成調査支出金の減少5億85百万円等であります。

## (負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ17億60百万円減少し、29億24百万円となりました。その主な増減内訳は、短期借入金金の減少21億円、賞与引当金の増加3億64百万円等あります。

## (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ4億39百万円増加し、37億69百万円となりました。その主な増減内訳は、利益剰余金の増加3億99百万円、その他有価証券評価差額金の増加35百万円等であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1億26百万円減少し、9億51百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億22百万円の増加（前年同四半期累計期間は15億94百万円の増加）となりました。これは主に税引前四半期純利益6億42百万円、引当金の増加3億66百万円、売上債権の減少6億99百万円、たな卸資産の減少5億85百万円等があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、19百万円の減少（前年同四半期累計期間は65百万円の減少）となりました。有形固定資産の取得による支出50百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、22億29百万円の減少(前年同四半期累計期間は17億12百万円の減少)となりました。これは短期借入金の減少21億円、長期借入金の返済65百万円、リース債務の返済による支出42百万円、配当金の支払額22百万円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期の業績と今後の見通しを踏まえて修正致しました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,078,611	951,755
受取手形	4,915	12,049
完成調査未収入金	2,478,784	1,772,354
未成調査支出金	1,107,510	521,594
材料貯蔵品	875	796
前払費用	60,669	53,774
その他	10,755	5,920
貸倒引当金	△248	△178
流動資産合計	4,741,874	3,318,066
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	563,180	551,601
機械及び装置(純額)	94,401	80,034
土地	1,505,183	1,505,183
その他(純額)	180,929	274,923
有形固定資産合計	2,343,695	2,411,743
無形固定資産		
投資その他の資産	112,565	115,023
投資有価証券	378,165	428,235
繰延税金資産	162,573	147,985
その他	279,746	276,574
貸倒引当金	△3,000	△3,000
投資その他の資産合計	817,485	849,796
固定資産合計	3,273,746	3,376,563
資産合計	8,015,620	6,694,630
<b>負債の部</b>		
流動負債		
調査未払金	472,526	407,788
短期借入金	2,100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	130,000	80,000
未払法人税等	100,108	237,364
賞与引当金	—	364,000
未成調査受入金	551,226	480,081
その他	491,034	443,238
流動負債合計	3,844,896	2,012,472
固定負債		
長期借入金	55,000	40,000
退職給付引当金	550,810	552,919
その他	235,011	319,575
固定負債合計	840,821	912,495
負債合計	4,685,717	2,924,967

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	819,965	819,965
資本剰余金	826,345	826,345
利益剰余金	2,113,797	2,512,871
自己株式	△553,531	△548,328
株主資本合計	3,206,575	3,610,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	123,327	158,810
評価・換算差額等合計	123,327	158,810
純資産合計	3,329,902	3,769,662
負債純資産合計	8,015,620	6,694,630

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	4,134,752	5,146,252
売上原価	2,934,155	3,445,924
売上総利益	1,200,597	1,700,328
販売費及び一般管理費	1,009,102	1,090,454
営業利益	191,494	609,873
営業外収益		
受取利息	104	284
受取配当金	4,960	4,951
受取手数料	6,989	6,604
固定資産賃貸料	30,857	29,276
受取保険金	24,556	6,714
その他	1,624	4,567
営業外収益合計	69,093	52,399
営業外費用		
支払利息	12,474	11,694
リース支払利息	4,096	7,667
その他	122	0
営業外費用合計	16,693	19,363
経常利益	243,894	642,909
特別損失		
固定資産除却損	—	534
投資有価証券評価損	28,082	—
特別損失合計	28,082	534
税引前四半期純利益	215,811	642,374
法人税等	89,553	220,130
四半期純利益	126,258	422,244



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	215,811	642,374
減価償却費	84,505	88,853
引当金の増減額(△は減少)	219,377	366,039
受取利息及び受取配当金	△5,064	△5,235
支払利息	12,474	11,694
固定資産除却損	—	534
投資有価証券評価損益(△は益)	28,082	—
未成調査受入金の増減額(△は減少)	46,105	△71,144
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,931	129,995
売上債権の増減額(△は増加)	1,050,804	699,295
たな卸資産の増減額(△は増加)	388,265	585,994
仕入債務の増減額(△は減少)	△298,191	△64,738
未払費用の増減額(△は減少)	△116,306	△176,940
預り保証金の増減額(△は減少)	△750	△5,914
その他	24,944	14,920
小計	1,667,990	2,215,729
利息及び配当金の受取額	5,064	5,235
利息の支払額	△16,322	△19,541
法人税等の支払額	△62,468	△81,564
法人税等の還付額	—	2,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,594,264	2,122,439
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△99,837	△50,061
無形固定資産の取得による支出	△1,705	△472
貸付金の回収による収入	2,307	1,072
その他	33,409	29,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,825	△19,665
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,700,000	△2,100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△50,000	△65,000
セール・アンド・リースバックによる収入	632	—
リース債務の返済による支出	△41,194	△42,332
自己株式の取得による支出	—	△50
配当金の支払額	△22,187	△22,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,712,749	△2,229,630
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184,310	△126,856
現金及び現金同等物の期首残高	730,878	1,078,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	546,567	951,755

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

当社は、建設工事に関連する地質調査、土質調査を中心に環境・防災・海洋調査業務等を行い、これらに関連する測量、建設計画、設計等の業務および工事を営む単一事業の企業集団であることから、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

当社は、建設工事に関連する地質調査、土質調査を中心に環境・防災・海洋調査業務等を行い、これらに関連する測量、建設計画、設計等の業務および工事を営む単一事業の企業集団であることから、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。